

令和元年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	好日苑		施設番号	K-184
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があつた場合の実施状況 (令和 3年 3月 31日時点)
中期経営計画について	<p>計画的運営が目標に照らして机上のプランとならないような振り返りを検討されたい</p> <p>施設では現在第5次中期経営計画が進行中であり、平成31年度事業計画は中期経営計画をふまえた単年度計画として中期経営計画を実現する場として位置づけられている。単年度計画に基づく事業運営が中期経営計画の目標に照らして妥当に行われるよう進行管理されている。しかし、これらの計画が机上のプランとならないように、法人全体としての具体的な目標の振り返りの機会を確保することを検討されたい。</p>	<p>働きやすい職場環境を整えるため、腰痛予防も含めて介護職の専門性の向上を図るため、「持ち上げない介護」「抱え上げない介護」を念頭に、腰痛予防対策マネジメントの構築と、拘縮や褥瘡を予防するため(寝かせりゼロ)ケアの質の向上を目指し、「変えられない」を変えていきます。を目標としてノーリフティングタスクフォースを立ち上げ、職員への浸透を図る。</p>	<p>① 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和 年 月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>
中期経営計画について	<p>計画的運営が目標に照らして机上のプランとならないような振り返りを検討されたい</p> <p>施設では現在第5次中期経営計画が進行中であり、平成31年度事業計画は中期経営計画をふまえた単年度計画として中期経営計画を実現する場として位置づけられている。単年度計画に基づく事業運営が中期経営計画の目標に照らして妥当に行われるよう進行管理されている。しかし、これらの計画が机上のプランとならないように、法人全体としての具体的な目標の振り返りの機会を確保することを検討されたい。</p>	<p>利用者が安心できる基盤整備として、認知症ケアを推進する。パーソン・センタードケアの考え方を軸に認知症についての基本的知識の理解を深めると共に「その人らしさ」を尊重した関わりが持てるよう検討を行うため、認知症ケア委員会を立ち上げる。</p>	<p>① 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和 年 月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>
について			<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和 年 月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>

※この様式は、「令和元年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。

平成30年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	好日苑		施設番号	K-184
項目	評価結果に基づく現状分析 (平成30年度)	改善計画 (平成30年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成31年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和2年3月31日時点)
について	<p>利用者の重度化に伴う対応についてさらなる工夫を期待する</p> <p>平成27年度の介護保険法の改正に伴い入所者が重度化してきており、利用者の入院日数が増加し施設の稼働率に問題が生じたところである。施設では「不断の予防ケア」を全職員に周知し、利用者の病気の早期発見、早期対応、往診の早期対応、診療機関との連絡体制などの対応をして入院患者の減少を実現してきた。しかし、利用者の重度化に伴う医療ニーズ(吸引、誤えん、皮膚疾患等)への対応、入院リスク軽減が今まで以上に必要となっている。さらに、多様化する医療ニーズへの対応のためマニュアルの見直しなどが必要であり、さらなる工夫を期待する。</p>	<p>平成30年度に喀痰吸引2号研修受講者を4名確保する。翌年度以降は、毎年7～8名の受講を推進する。</p> <p>吸引等に関する安全対策指針の改訂を行う</p>	<p>① 実施済み</p> <p>平成30年度に2号研修4名受講済</p> <p>② 実施予定(令和 元年 6月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>吸引等に関する安全対策指針の改訂</p>	<p>① 実施済み (令和 元年 6月)</p> <p>令和元年度に2号研修3名受講済</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>令和元年6月28日 吸引等に関する安全対策指針の一部改訂</p>
について	<p>施設の人材不足への対応は様々になされてきているが、さらなる工夫を期待する</p> <p>現在の人材不足は介護業界にとって大きな課題とされ、外国人人材の活用をめぐって法改正を含め国会等で議論されているところである。施設においても、職員の採用に様々な工夫を重ねている。施設では、介護の資格を有する者に採用を限定していたのを緩和したり、就職支度金制度や資格取得支援制度、職員紹介制度や人材紹介会社の活用等の工夫が実施されてきた。しかし、実施に困難を伴うとしても、外国人の採用とか介護ロボットの導入等の新規対策について施設としての方針を明らかにして、今日の人材不足に対処することも検討されたい。</p>	<p>業務のスマート化を推進すると共に、介護業務の分業化を検討し、外国人や業務未経験者でも円滑に業務が出来るように、本新館協働チームプロジェクトで検討する。</p>	<p>① 実施済み</p> <p>2 実施予定(年 月頃)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>下記本新館協働プロジェクトにて左記を検討する。 ①採用～育成までを検討するチーム ②医行為チーム ③働き方検討チーム</p>	<p>① 実施済み (令和 元年 6月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>①採用～育成までを検討するチーム ⇒OJT面談シートを作成し、業務内容の均等化とスマート化を図った ②医行為チーム ⇒夜間シートを作成し、夜間介護職員のみでも安心して夜勤が出来るように改善した ③働き方検討チーム ⇒計画半有休導入</p>
について			<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(年 月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>

※この様式は、「令和元年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。